

# 平成22年滋賀県貿易実態調査結果概要

平成24年 3月  
滋賀県商工観光労働部観光交流局

## I 調査の概要

- 1 調査対象期間  
平成22年 1月 1日～平成22年12月31日
- 2 調査の方法  
調査対象企業に調査票を郵送し、回収して集計。
- 3 調査対象企業および回答状況  
従業員数30人以上の製造業の事業所  
(1) 対象企業数 977  
(2) 回答企業数 430 (回答率 44.0%)

貿易実績のある企業		( ) 内は延べ企業数	
大企業	輸出・輸入	40	
	輸出のみ	13	(輸出 53)
	輸入のみ	17	(輸入 57)
	計	70	
中小企業	輸出・輸入	54	
	輸出のみ	33	(輸出 87)
	輸入のみ	37	(輸入 91)
	計	124	
合計	輸出・輸入	94	
	輸出のみ	46	(輸出 140)
	輸入のみ	54	(輸入 148)
	計	194	

### ※ 利用上の注意事項

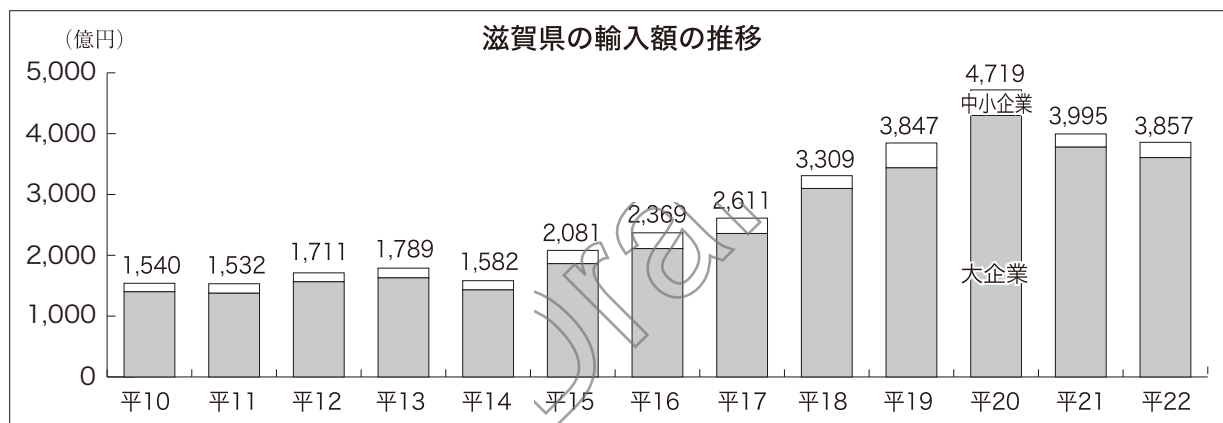
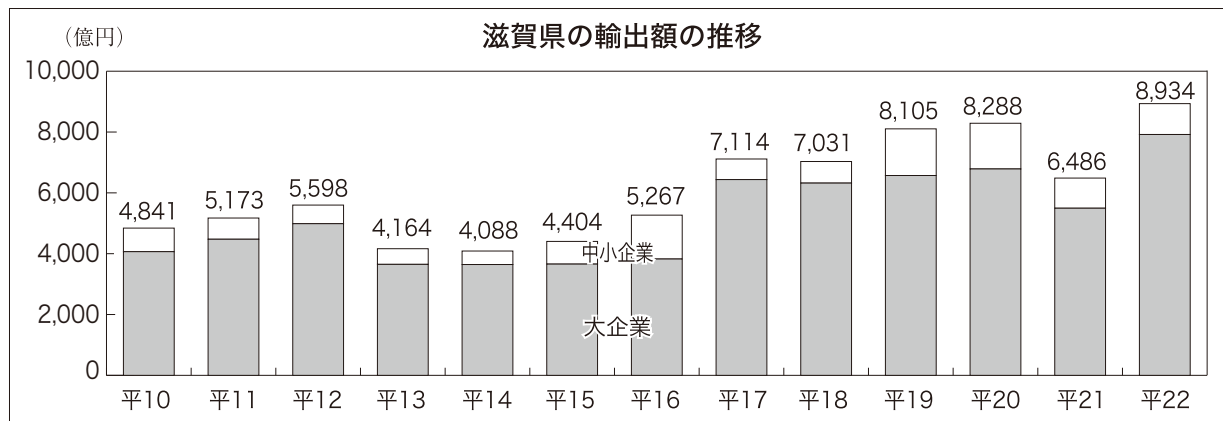
- (1) 本調査は、本県の輸出入の傾向を知るため単年毎に実施している任意調査であり、回答のあった事業所の輸出入額(本社経由および親企業、商社経由等の間接輸出入を含む)を集計したものであるため、必ずしも本県の総輸出入額とは言えない。
- (2) 本調査においての大企業・中小企業の区分については、資本金の額または出資の総額が3億円以下の企業または常時雇用する従業員数が300人以下の会社を中小企業とした。ただし、平成10年度までの大企業・中小企業の区分については、資本金の額または出資の総額が1億円以下の会社ならびに常時使用する従業員数が300人以下の会社が中小企業となっている。
- (3) 輸出入品目の分類は日本標準産業分類を基本とした。
- (4) 各表の各数値の合計は四捨五入の関係で計欄の数値と一致しない場合がある。

## Ⅱ 輸出入の状況

### 1 輸出入概況

滋賀県貿易実態調査によると、本県の平成22年の輸出額は8,934億9百万円で、輸入額は3,857億1千万円であった。平成21年は、輸出額、輸入額ともに前年度を大きく下回ったが、平成22年は輸出額が増加し年間貿易額（輸出額+輸入額）は前年比で22.0%の増加となった。

企業区分で見ると、中小企業の輸出額は、1,014億59百万円で全体の11.4%、輸入額は、250億81百万円で全体の6.5%となっている。

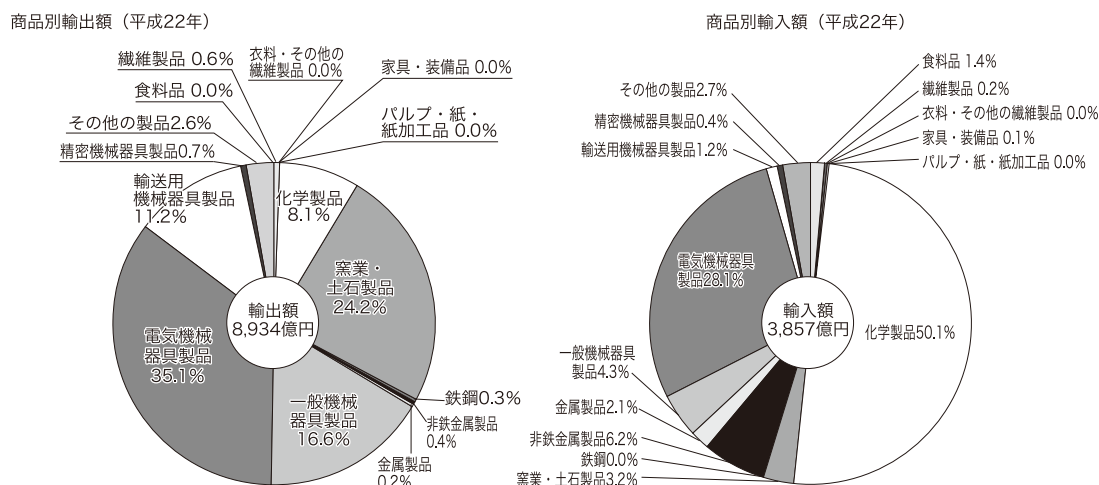


### 滋賀県の輸出額および輸入額の推移

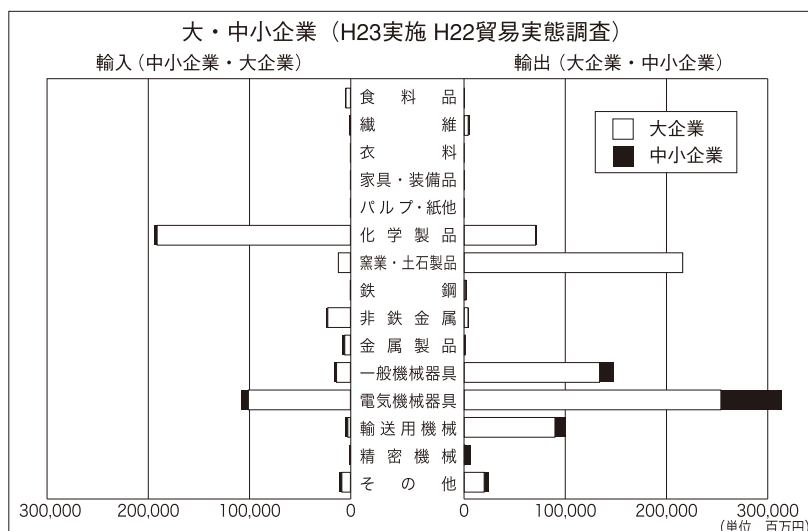
(単位：百万円)

年次	輸 出 額			輸 入 額		
	大企業	中小企業	計	大企業	中小企業	計
平成10年	406,674	77,475	484,149	140,054	13,946	154,000
平成11年	447,533	69,731	517,264	137,626	15,599	153,225
平成12年	498,673	61,170	559,843	156,522	14,602	171,124
平成13年	364,958	51,413	416,371	162,884	16,007	178,891
平成14年	364,368	44,386	408,754	143,040	15,209	158,249
平成15年	365,809	74,544	440,353	186,254	21,824	208,078
平成16年	382,512	144,220	526,732	211,027	25,915	236,942
平成17年	643,684	67,681	711,365	235,870	25,200	261,070
平成18年	632,145	70,956	703,101	309,848	21,070	330,918
平成19年	657,074	153,387	810,461	343,764	40,899	384,663
平成20年	678,605	150,244	828,849	429,836	42,085	471,921
平成21年	549,545	99,082	648,627	377,809	21,701	399,510
平成22年	791,950	101,459	893,409	360,629	25,081	385,710

## 2 商品別輸出・輸入の状況



品目	商品別輸出額（平成22年）						商品別輸入額（平成22年）					
	総数		大企業		中小企業		総数		大企業		中小企業	
	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比
食料品	197	0.0%	130	0.0%	67	0.1%	5,278	1.4%	4,332	1.2%	946	3.8%
繊維製品	5,510	0.6%	3,820	0.5%	1,690	1.6%	665	0.2%	450	0.1%	215	0.9%
衣料・その他の繊維製品	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具・装備品	142	0.0%	0	0.0%	142	0.1%	340	0.1%	0	0.0%	340	1.3%
パルプ・紙・紙加工品	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	80	0.0%	0	0.0%	80	0.3%
化学製品	72,035	8.1%	70,264	8.9%	1,771	1.7%	193,111	50.1%	190,768	52.9%	2,343	9.3%
窯業・土石製品	216,128	24.2%	215,611	27.2%	517	0.5%	12,337	3.2%	11,869	3.3%	468	1.9%
鉄鋼	2,361	0.3%	1,346	0.1%	1,015	1.0%	32	0.0%	17	0.0%	15	0.1%
非鉄金属製品	3,949	0.4%	3,644	0.5%	305	0.3%	23,929	6.2%	22,300	6.2%	1,629	6.5%
金属製品	1,718	0.2%	801	0.1%	917	0.9%	8,223	2.1%	5,566	1.6%	2,657	10.6%
一般機械器具製品	147,879	16.6%	133,514	16.8%	14,365	14.2%	16,582	4.3%	13,663	3.8%	2,919	11.6%
電気機械器具製品	313,410	35.1%	253,279	32.0%	60,131	59.3%	108,313	28.1%	100,710	27.9%	7,603	30.3%
輸送用機械器具製品	100,415	11.2%	89,484	11.3%	10,931	10.8%	4,692	1.2%	2,530	0.7%	2,162	8.6%
精密機械器具製品	6,040	0.7%	468	0.1%	5,572	5.5%	1,728	0.4%	0	0.0%	1,728	6.9%
その他の製品	23,625	2.6%	19,589	2.5%	4,036	4.0%	10,399	2.7%	8,423	2.3%	1,976	7.9%
計	893,409	100.0%	791,950	100.0%	101,459	100.0%	385,709	100.0%	360,628	100.0%	25,081	100.0%

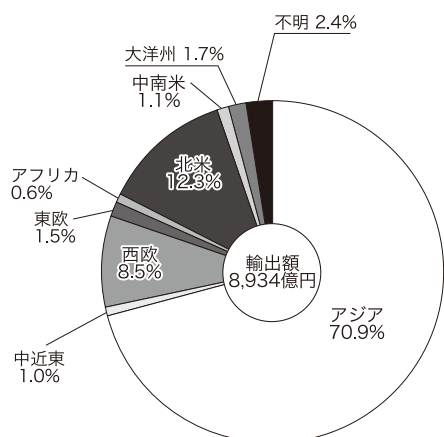


商品別輸出実績では、電気機械器具製品が、3,134億1千万円で最も多く、全体の35.1%を占めている。次いで窯業・土石製品の2,161億28百万円（構成比24.2%）、一般機械器具製品の1,478億79百万円（構成比16.6%）の順となっており、輸送用機械器具製品や精密機械器具製品を含めた機械関連業種で全体の63.6%を占める。

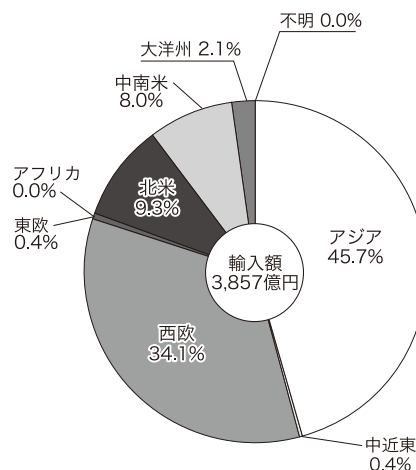
商品別輸入実績では、化学製品が1,931億11百万円で最も多く、全体の50.1%を占めている。次いで、電気機械器具製品の1,083億13百万円（構成比28.1%）、非鉄金属製品の239億29百万円（構成比6.2%）の順となっている。

### 3 輸出仕向地・輸入仕入地の状況

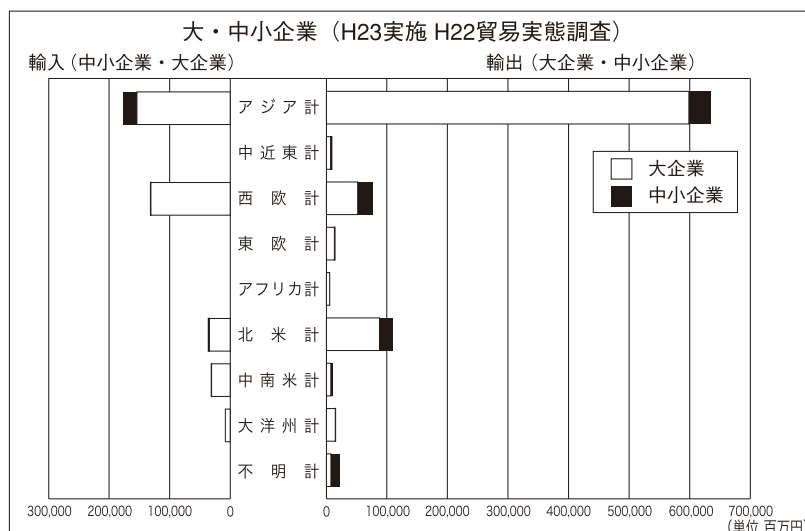
仕向地別輸出額（平成22年）



仕向地別輸入額（平成22年）



地域	仕向地別輸出額（平成22年）						仕入地別輸入額（平成22年）					
	総数		大企業		中小企業		総数		大企業		中小企業	
	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比
アジア	633,679	70.9%	598,166	75.5%	35,513	35.0%	176,251	45.7%	153,936	42.7%	22,315	89.0%
中近東	8,672	1.0%	6,905	0.9%	1,767	1.7%	1,660	0.4%	1,136	0.3%	524	2.1%
西欧	76,011	8.5%	51,559	6.5%	24,452	24.1%	1,313,347	34.1%	130,836	36.3%	511	2.0%
東欧	13,797	1.5%	13,105	1.7%	692	0.7%	1,668	0.4%	1,668	0.5%	0	0.0%
アフリカ	5,696	0.6%	5,437	0.7%	259	0.3%	7	0.0%	7	0.0%	0	0.0%
北米	109,871	12.3%	87,527	11.1%	22,344	22.0%	35,885	9.3%	34,315	9.5%	1,570	6.2%
中南米	9,701	1.1%	7,248	0.9%	2,453	2.4%	30,770	8.0%	30,728	8.5%	42	0.2%
大洋州	14,857	1.7%	14,644	1.8%	213	0.2%	8,121	2.1%	8,002	2.2%	119	0.5%
不明	21,125	2.4%	7,359	0.9%	13,766	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	893,409	100.0%	791,950	100.0%	101,459	100.0%	385,709	100.0%	360,628	100.0%	25,081	100.0%

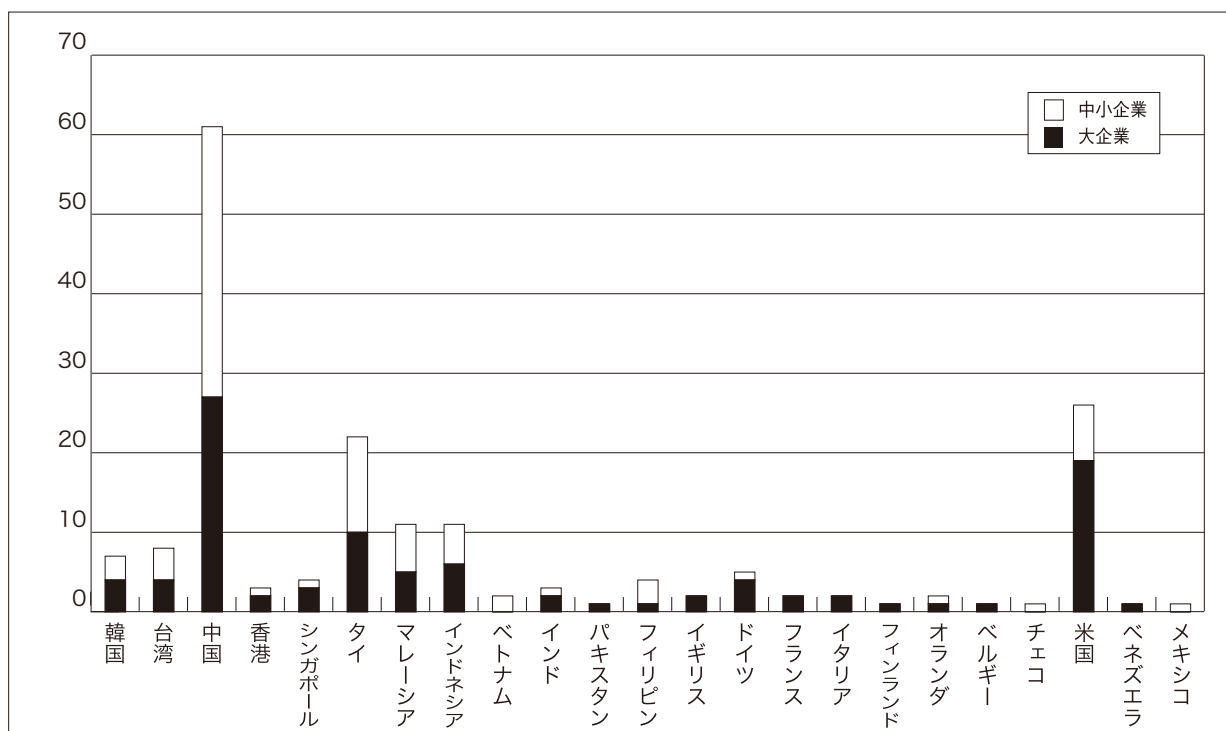


仕向地別輸出実績は、アジア向けが最も多く6,336億79百万円で全体の70.9%を占めている。次いで、北米向けの1,098億71百万円（構成比12.3%）、西欧向けの760億11百万円（構成比8.5%）となっている。

仕入地別輸入実績は、アジアが最も多く1,762億51百万円で全体の45.7%を占めている。次いで、西欧の1,313億47百万円（構成比34.1%）、北米の358億85百万円（構成比9.3%）となっている。

### Ⅲ 海外進出の状況（海外に関係工場・事業所を有する県内事業所数）（注：のべ事業所数）

#### 1 海外関係工場・事業所の進出先（平成22年12月末現在）



#### 2 海外進出の状況（平成22年調査結果より）

進出地域	進出国	大企業	中小企業	計
アジア	韓国	4	3	7
	台湾	4	4	8
	中国	27	34	61
	香港	2	1	3
	シンガポール	3	1	4
	タイ	10	12	22
	マレーシア	5	6	11
	インドネシア	6	5	11
	ベトナム	0	2	2
	インド	2	1	3
	パキスタン	1	0	1
	フィリピン	1	3	4
西 欧	イギリス	2	0	2
	ドイツ	4	1	5
	フランス	2	0	2
	イタリア	2	0	2
	フィンランド	1	0	1
	オランダ	1	1	2
	ベルギー	1	0	1
東 欧	チェコ	0	1	1
北 米	米国	19	7	26
中南米	ベネズエラ	1	0	1
	メキシコ	0	1	1
太洋州	オーストラリア	1	0	1
合 計		99	83	182

#### 3 今後の海外進出の意向

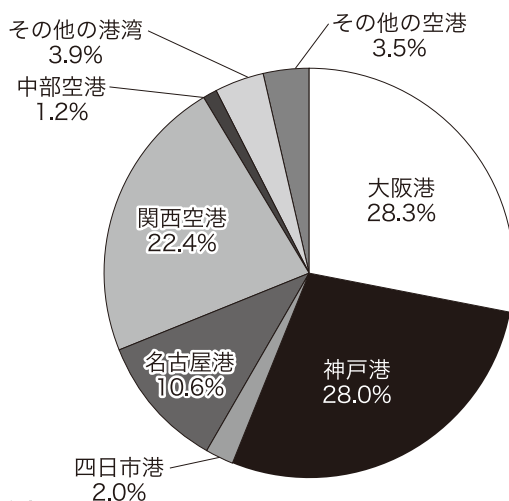
進出地域	進出国	大企業	中小企業	計
アジア	中国	4	2	6
	インドネシア	0	1	1
	インド	2	1	3
	タイ	0	1	1
	ベトナム	1	1	2
	マレーシア	0	1	1
東 欧	ロシア	0	1	1
北 米	米国	0	1	1
中南米	ブラジル	1	0	1
	ウルグアイ	1	0	1
合 計		9	9	18

海外進出の最も多い地域は本県貿易総額の7割以上を占めるアジア地域であり137社が進出している。次が北米地域で26社である。西欧については、ドイツを中心に15社である。アジアについては中国をはじめ東南アジアを中心に広く進出している。国別では中国に次いで進出企業数が多いのは米国であり26社が進出している。また少数ではあるがパキスタン、フィンランド、ベルギー、チェコ、ベネズエラ、メキシコに進出している企業もある。今後の進出予定については、中国をはじめとするアジア地域への進出意向が高い。

#### IV 輸出入の際に使用する港湾・空港

※企業数。複数回答可。回答のあったところのみ集計。

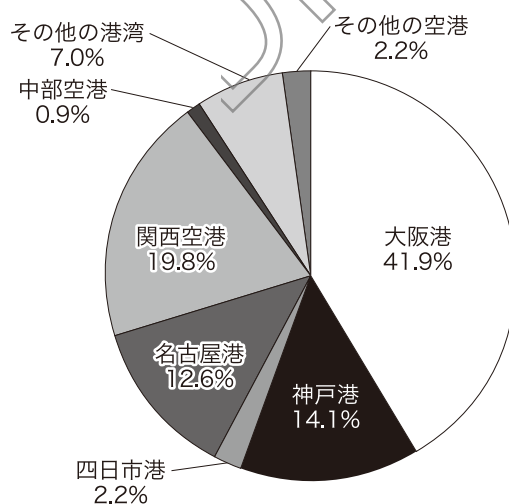
使用港湾・空港（輸出・平成22年）



使用港湾・空港（輸出・平成22年）

	大阪港	神戸港	四日市港	名古屋港	関西空港	中部空港	その他の港湾	その他の空港	計
大企業	32	31	5	14	27	0	7	7	123
中小企業	40	40	0	13	30	3	3	2	131
小計	72	71	5	27	57	3	10	9	254
構成比	28.4%	28.0%	2.0%	10.6%	22.4%	1.2%	3.9%	3.5%	100.0%

使用港湾・空港（輸入・平成22年）



使用港湾・空港（輸入・平成22年）

	大阪港	神戸港	四日市港	名古屋港	関西空港	中部空港	その他の港湾	その他の空港	計
大企業	39	15	4	13	24	1	6	5	107
中小企業	56	17	1	14	21	1	10	0	120
小計	95	32	5	27	45	2	16	5	227
構成比	41.9%	14.1%	2.2%	11.9%	19.8%	0.9%	7.0%	2.2%	100.0%

輸出入に使用する港湾・空港については、港湾では大阪港・神戸港・名古屋港、空港では関西空港を中心に、本県の立地特性により周辺の阪神・中京地域などの港湾・空港が広く利用されている。



## V 平成22年貿易の変化について

平成21年はリーマンショックに端を発した世界同時不況の影響により輸出額、輸入額とも大幅に減少したが、平成22年は輸出額は増加し過去最高となったが、輸入額はさらに減少した。

輸出総額は37.7%の増、輸入総額は3.5%の減となっているが、地域別にみると、輸出についてはアジア地域が7割以上を占め、前年度比で33.9%の伸びとなっている。国別では中国をはじめインドネシア、韓国、台湾への輸出が増加している。昨年減少の著しかった北米地域も前年度比75.5%と大幅に増加しており、香港、中南米やその他一部の地域を除いたすべての地域で増加している。輸入については、西欧・東欧地域以外の広い地域では増加している。

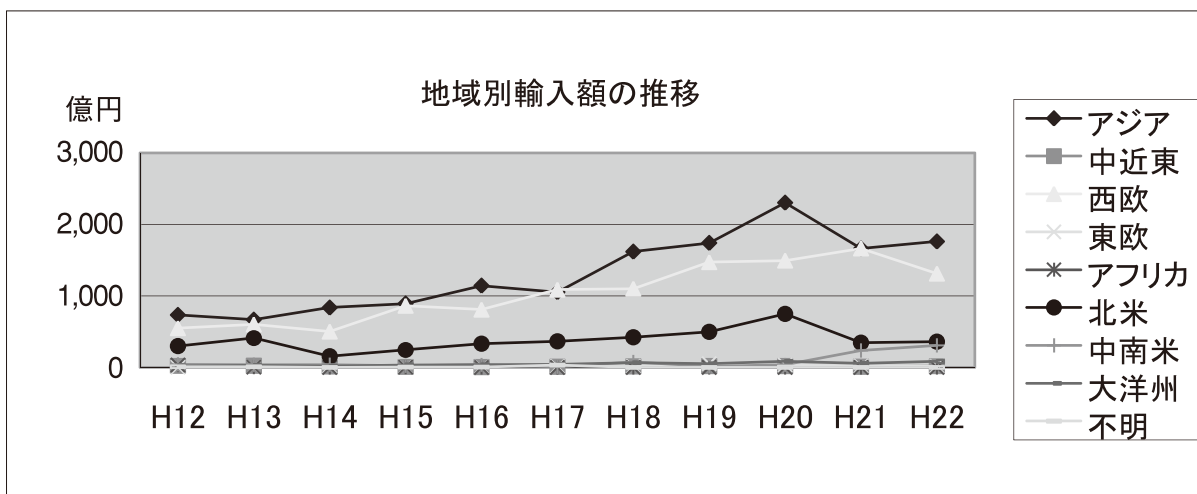
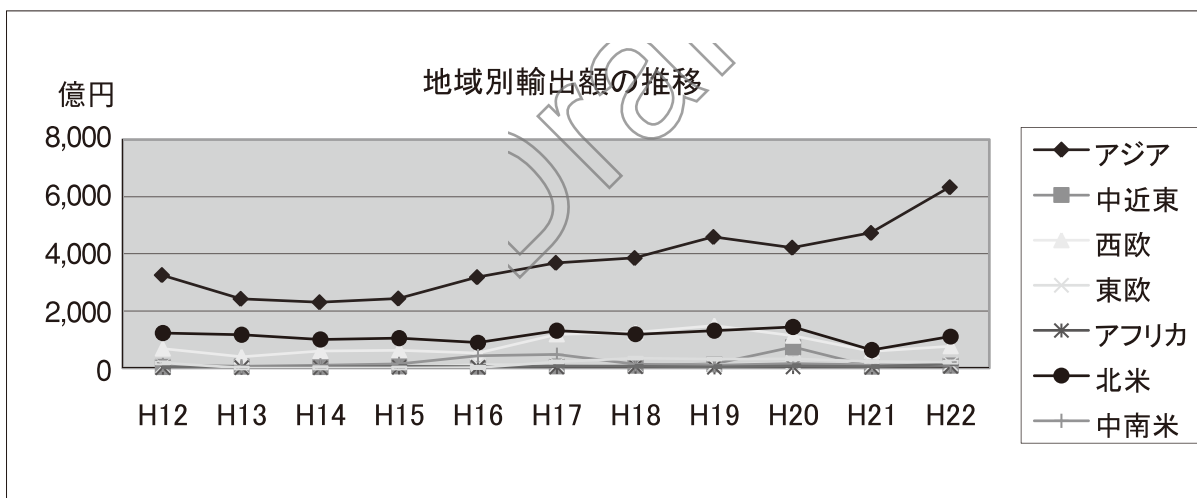
品目別の輸出をみると、一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械などの機械関連業種で6割以上を占めている。これらの業種をはじめ、窯業・土石製品、非鉄金属、化学製品など広範な業種で輸出が増加しているが、個別の企業によるところが多く、大企業、中小企業とも、著しく減少している業種も見受けられる。

企業区分で見ると、中小企業の輸出額は、1,014億59百万円で全体の11.4%、輸入額は、250億81百万円で全体の6.5%となっており、輸出では約2.4%の増、輸入では約15.6%の増となっている。

詳しく分析するため、前年対比可能な企業（大企業57社、中小企業110社）を抽出し比較した結果、大企業平均額で輸出が36.9%増、輸入が7.0%増、中小企業平均額では、輸出が5.4%増、輸入が32.4%増となっており、大企業では輸出が、中小企業においては輸入がそれぞれ大幅に増加している。

輸出額・輸入額の増減の程度については、大企業・中小企業とも企業による差が大きいですが、企業数で比較すると、輸出が増加した企業数は大企業41社、中小企業50社となっており、昨年（平成21年）と比べ輸出額が3割以上増加した企業数は大企業29社、中小企業33社となっている。

以上のとおり、本県における平成22年の輸出入の状況は、全体的に輸出が増加しており、リーマンショックによる世界同時不況の影響による落ち込みから、改善傾向にあると考えられる。



2024

発行  
〒520-8577  
大津市京町四丁目 1 - 1  
滋賀県商工観光労働部観光交流局  
TEL 077-528-3061



古紙配合率100%再生紙を使用しています